

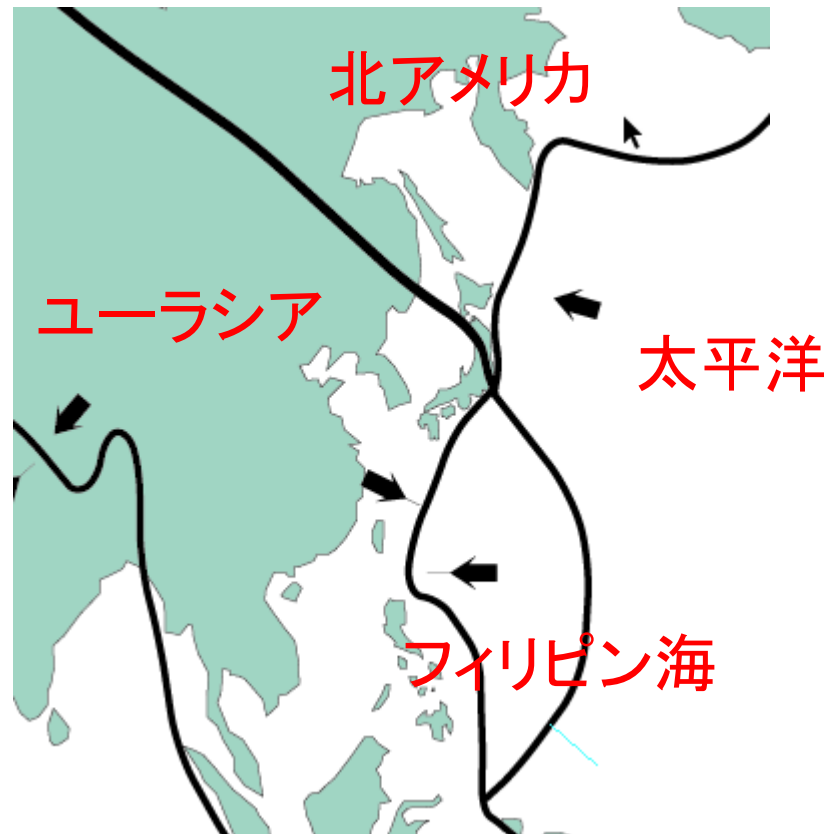


日本の自然

1 大地形

(1)日本は4枚のプレートの会合する【**狭まる**】境界付近に
形成された【**弧状**】列島

【**太平洋**】プレート ・【**フィリピン海**】プレート(海洋プレート)
【**ユーラシア**】プレート ・【**北アメリカ**】プレート(大陸プレート)



(2)日本周辺の海溝・トラフ



(3)構造線(断層帯・断層線)

①【 **フォッサマグナ** 】

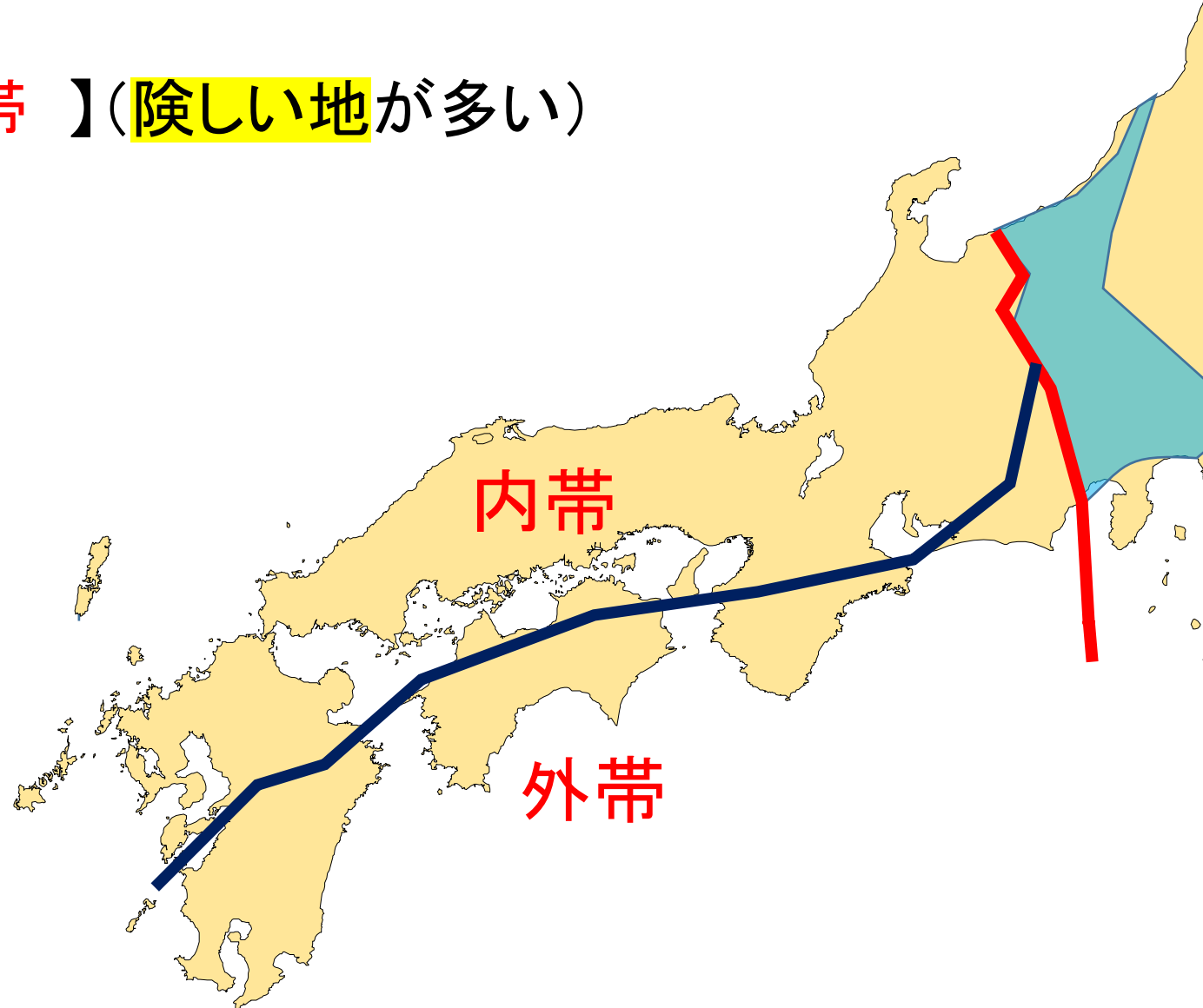
(西縁を「 **糸魚川・静岡構造線**」)

②【 **中央** 】構造線(メディアンライン)



■ 西南日本【内帯】(丘陵や高原など緩やかな山地が多い)

■ 西南日本【外帯】(険しい地が多い)

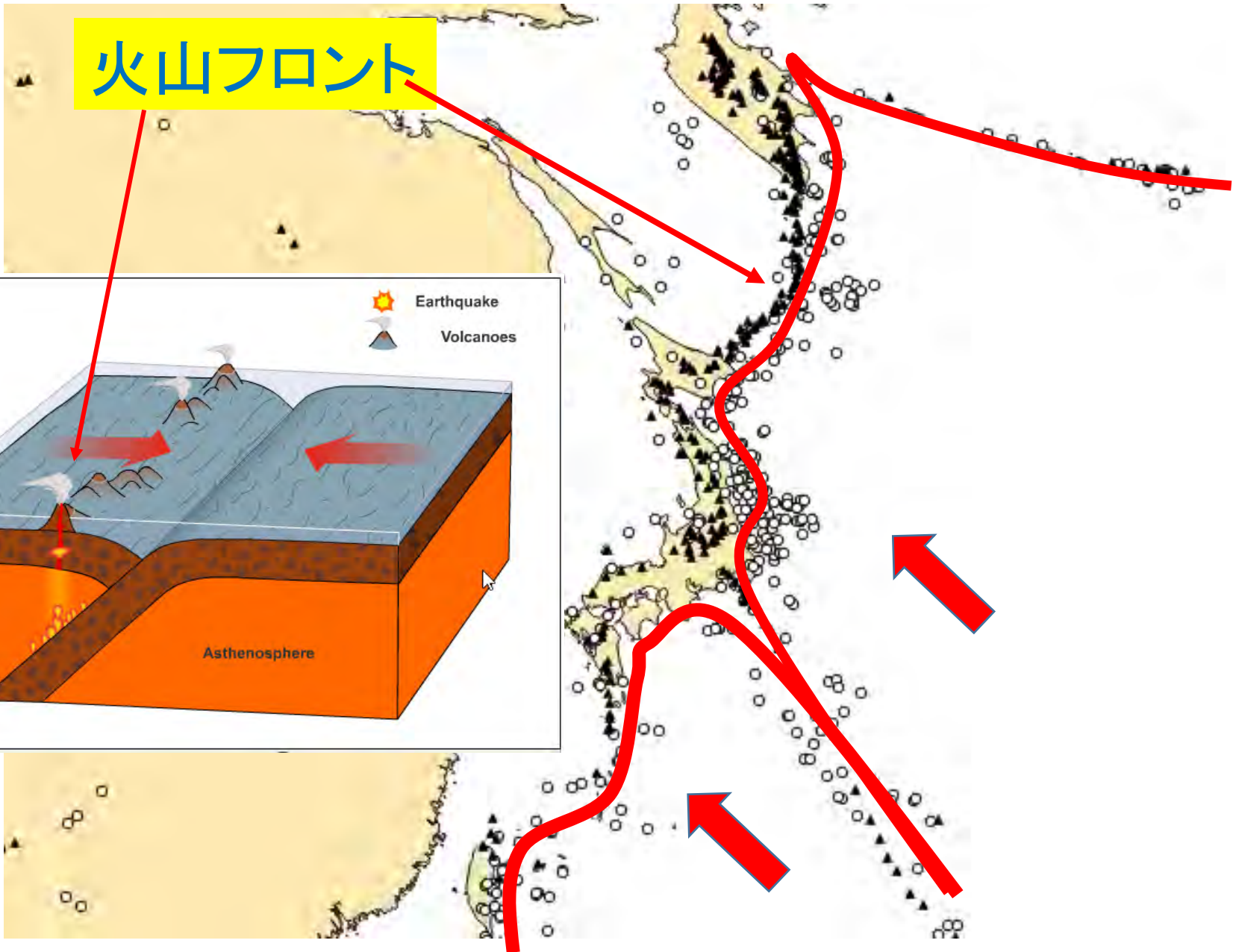
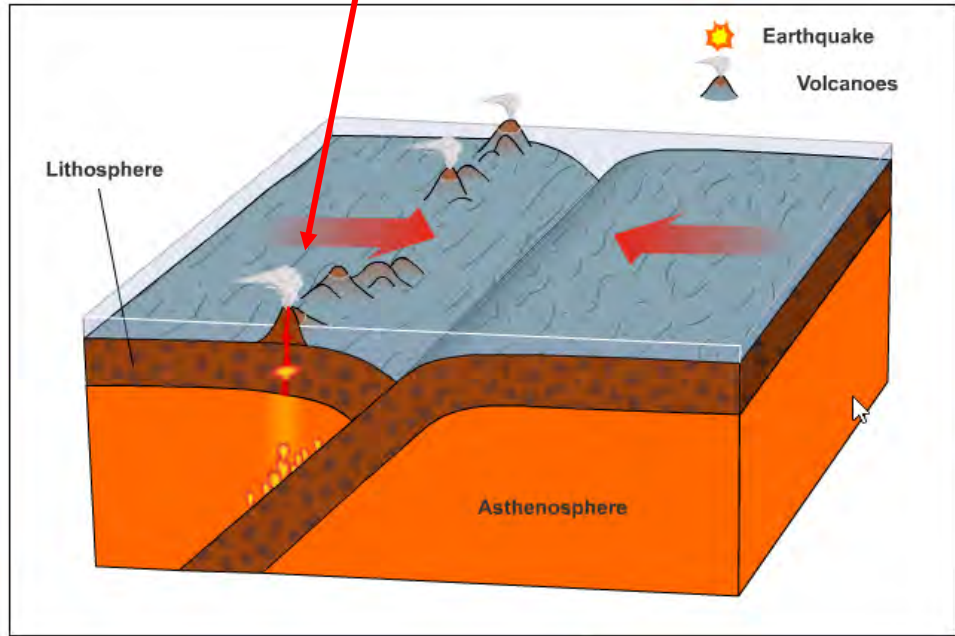


(4) 火山帯

- ① 東日本火山帯・西日本火山帯 (分布域をおさえる!)
が プレート境界 から少し離れたところに発達 (火山フロント)
- ② 近畿地方や 四国 地方には火山がない



火山フロント



日本の活火山

1	知床硫黄山	23	秋田焼山	45	新潟焼山	67	婿婦岩	89	池田・山川
2	羅臼岳	24	八幡平	46	妙高山	68	西之島	90	開聞岳
3	摩周	25	岩手山	47	弥陀ヶ原	69	海形海山	91	薩摩硫黄島
4	アトサヌプリ	26	秋田駒ヶ岳	48	焼岳	70	海徳海山	92	口永良部島
5	雌阿寒岳	27	鳥海山	49	アカンダナ山	71	噴火浅根	93	口之島
6	丸山	28	栗駒山	50	乗鞍岳	72	硫黄島	94	中之島
7	大雪山	29	鳴子	51	御嶽山	73	北福德堆	95	諏訪之瀬島
8	十勝岳	30	肘折	52	白山	74	福德岡ノ場	96	硫黄島島
9	利尻山	31	蔵王山	53	富士山	75	南日吉海山	97	西表島北北東海底火山
10	樽前山	32	吾妻山	54	箱根山	76	日光海山	98	茂世路岳
11	恵庭岳	33	安達太良山	55	伊豆東部火山群	77	三瓶山	99	散布山
12	倶多楽	34	磐梯山	56	伊豆大島	78	阿武火山群	100	指白岳
13	有珠山	35	沼沢	57	利島	79	鶴見岳・伽藍岳	101	小田萌山
14	羊蹄山	36	燧ヶ岳	58	新島	80	由布岳	102	択捉焼山
15	二セコ	37	那須岳	59	神津島	81	九重山	103	択捉阿登佐岳
16	北海道駒ヶ岳	38	高原山	60	三宅島	82	阿蘇山	104	ベルタルベ山
17	恵山	39	日光白根山	61	御蔵島	83	雲仙岳	105	ルルイ岳
18	渡島大島	40	赤城山	62	八丈島	84	福江火山群	106	爺爺岳
19	恐山	41	榛名山	63	青ヶ島	85	霧島山	107	羅臼山
20	岩木山	42	草津白根山	64	ベヨネース列岩	86	米丸・住吉池	108	泊山
21	八甲田山	43	浅間山	65	須美寿島	87	若尊		
22	十和田	44	横岳	66	伊豆鳥島	88	桜島		

(5) 日本の近年の主な災害(火山噴火・地震など)

地震

2011年3月11日 **東北地方太平洋沖地震** (東日本大震災) (M9.0)

→ プレート型地震

2008年6月14日 岩手・宮城内陸地震 (M7.2震度6強)

大規模な土砂崩れ 地滑り

2007年7月16日 新潟県中越沖地震 (M6.8震度6強)

柏崎刈羽原発で複数の被害

2007年3月25日 能登半島地震 (M6.9震度6強)

2005年3月20日 福岡県北部沖地震 (M7.0震度6弱) 玄界島に被害集中

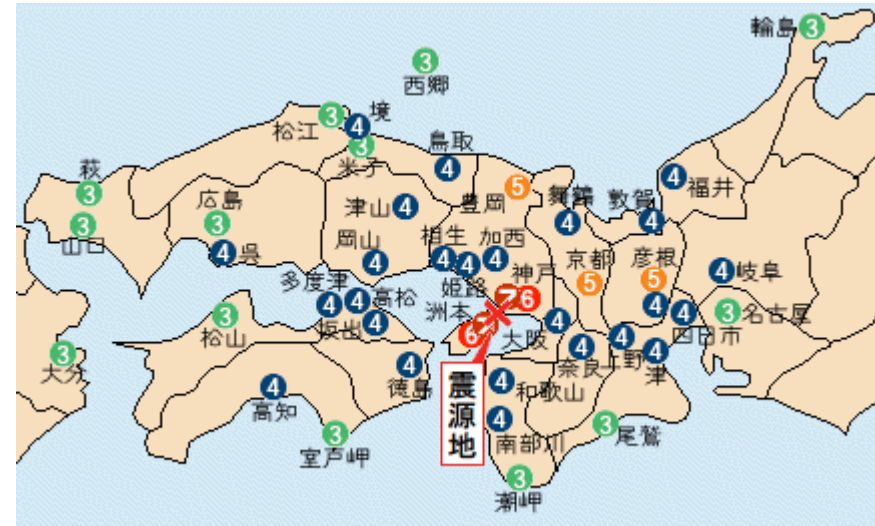
2004年10月23日 新潟県中越地震 (M6.8震度7) 死者65人新幹線脱線

2003年9月26日 2003年十勝沖地震 (M8.0震度6弱)

1995年1月17日 **兵庫県南部地震** (阪神淡路大震災) (M7.3震度7)

→ 活断層型地震(直下型地震)







火山

2000年7月～ 三宅島の噴火 全島避難

1991年6月 雲仙普賢岳 の噴火

大規模な 火砕流 平成新山誕生

1986年10月 大島三原山の噴火 全島避難

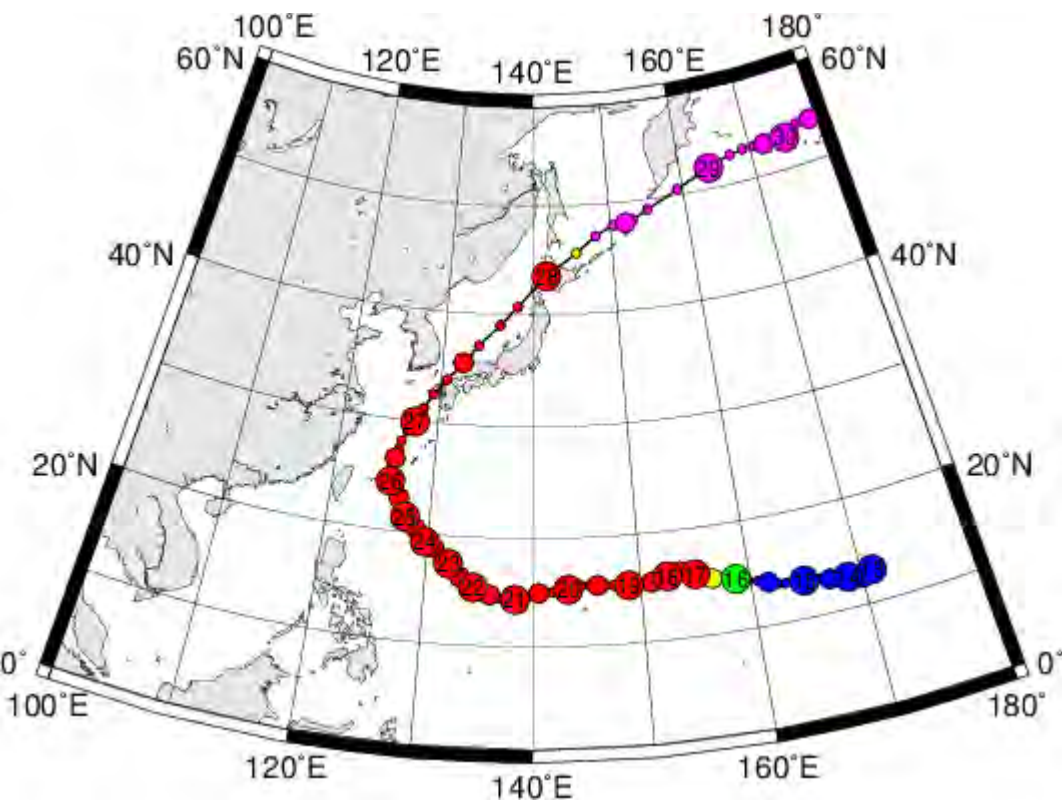


台風

1991年9月 台風19号 死者62人 近年まれにみる被害
リンゴ台風(青森でリンゴが壊滅的被害)
(巖島神社損壊)

2019年10月 台風19号 死者70人以上

各地の河川が決壊し,甚大な被害



※ 近年は都市化、温暖化などにより ゲリラ豪雨 などの災害も多くなっている

予測が困難な、積乱雲の発生による突発的で局地的な豪雨

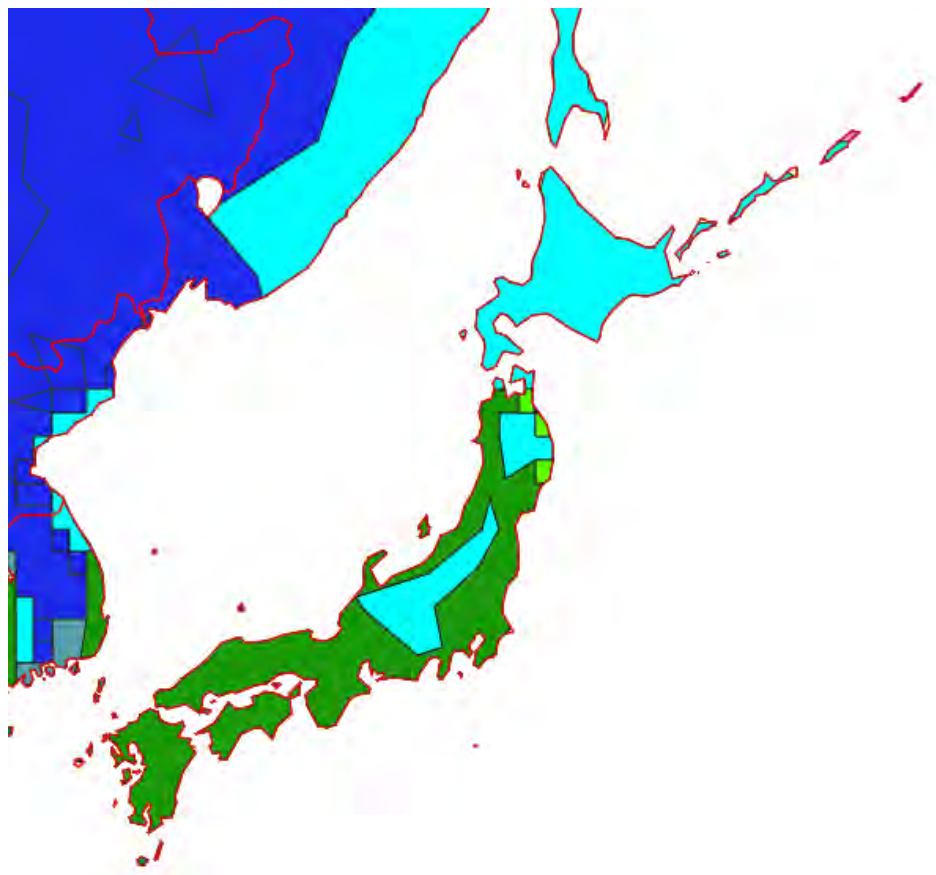


2 日本の気候

(1) ケッペンの気候区分

■ 日本列島の大部分・・・【 **Cfa** 】で四季の変化が明瞭。

■ 北海道(青森を含むときも)は【 **Df** 】となる。

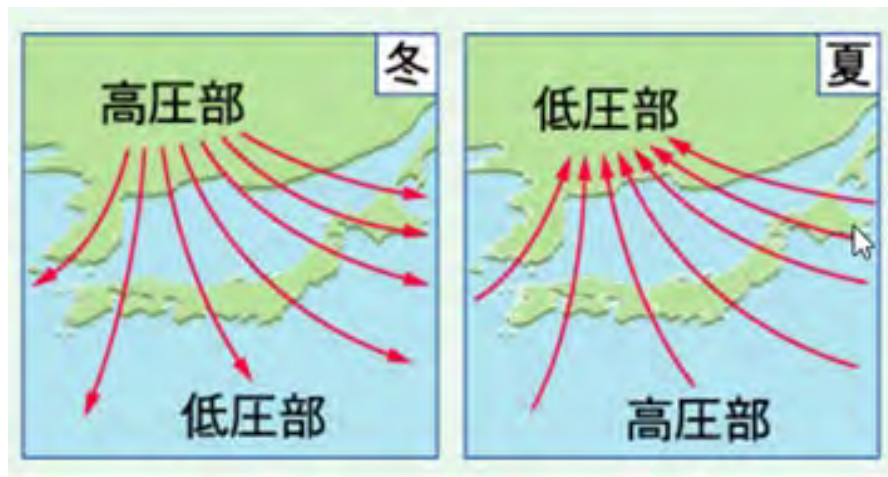


(2)気候型



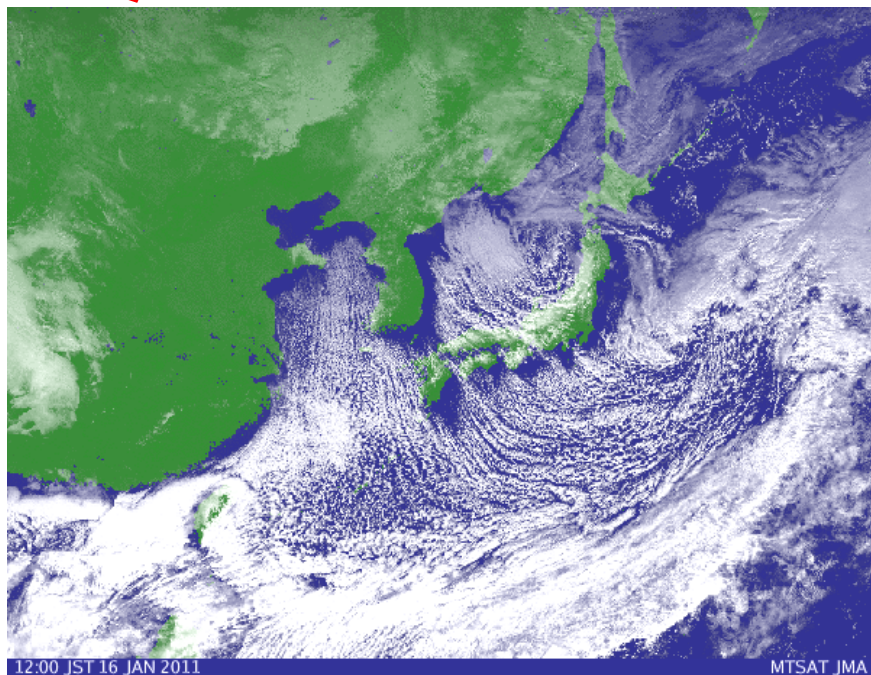
- 日本海側 年中湿潤、6月(梅雨)、9月(秋雨や台風)に降水量多い。冬は 降雪 で日射量少ない。
- 太平洋岸 年中湿潤、6月(梅雨)、9月(秋雨や台風)に降水量多い。冬は、山越えした 乾燥した風 が吹き込み少雨で日射量多い。
- 中央高地式 高度が高いため気温が 低い。
降水量は沿岸と比較して 少ない。
- 瀬戸内海式 気温は高いが、【 夏 】は四国山地に【 南東 】季節風がさえぎられ、
【 冬 】は中国山地に【 北西 】季節風がさえぎられて、降水量が少なめ。

(3) 夏と冬のモンスーン

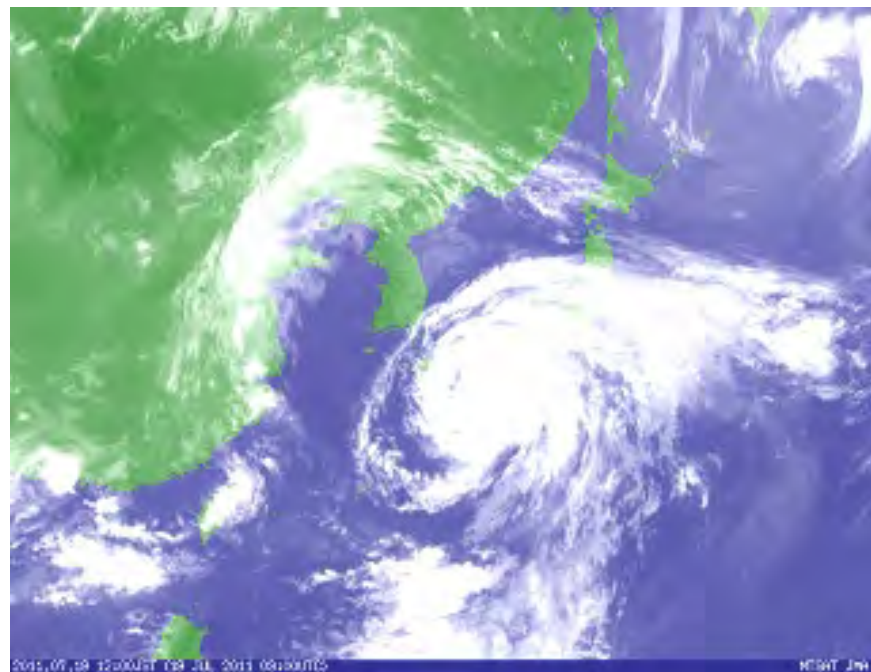


下の衛星画像は,夏と冬どちらか?

冬



夏



(4) 気圧配置の変化で生まれる季節変化

南高北高

- 梅雨の時期・・・【小笠原】気団(太平洋高気圧の一部)と【オホーツク海】気団の間に梅雨前線が形成。
- 夏・・・基本的には【小笠原】気団が強い南高北低
 - ※【オホーツク海】気団から【やませ】とよばれる寒冷風が吹き、東北地方の【太平洋】側で冷害の原因となることもある
- 冬・・・基本的には【シベリア】気団が強い西高東低
 - ※【シベリア】気団から日本側に寒冷風が吹き出す。

